

インフラ整備70年 講演会(第7回)

～戦後の代表的な100プロジェクト～

「リアス海岸での永年の難事業、三陸海岸の命の道国道45号線、
大津波による分断と復旧、新たな三陸道の併設」

講演者: 徳山 日出男 (政策研究大学院大学客員教授)
川瀧 弘之 ((一財)日本みち研究所、元国土交通省東北地方整備局長)
角田 光男(東京都市大学、元共同通信社)
藤島 芳男((株)復建技術コンサルタント最高顧問)



写真提供: 岩手日報社

講演プログラム

1. 国道45号線とはどんな道か
2. 昭和40年代後半、国道45号線が三陸の村を変えた
3. 東日本大震災の被災から8年

2019年**3月11日** (月)

講演会: 17:30~19:30 (受付開始 17:00~)
交流会: 19:30~20:30

場所: 政策研究大学院大学 想海樓 (そうかいろう) ホール

定員: 300名

*本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして設定されております。

*講演終了後、軽食による交流会を予定しています。

*本講演会は、どなたでも申し込み可能です。会費及び申し込み方法は裏面をご覧ください。

国道45号は今回の震災において、「命の道」として機能を発揮しました。

本道路は、平時には暮らしを支え(医療サービス、産業、観光)、災害時には命を守る(避難、救命救急、復旧)という機能を持った道路である。また、全線開通に向け、低コストを実現しつつ、暮らしを支え命を守る機能を強化した、被災地復興のリーディングプロジェクトとして整備を進めている。

本講演では、国道45号の歴史を踏まえ、三陸地域の大動脈を建設することの意義、開通によって沿線地域がどう変わったか、東日本大震災からの復興、新たな命の道、建設中の三陸道などについて、徳山日出男氏(政策研究大学院大学客員教授、元国土交通省事務次官)、川瀧弘之氏((一財)日本みち研究所、元同省東北地方整備局長)、角田光男氏(東京都市大学)、藤島芳男氏((株)復建技術コンサルタント)にご講演いただきます。

主催: (一社) 建設コンサルタンツ協会

後援: (公社) 土木学会

「リアス海岸の難工事を克服、津波による寸断、三陸沿岸道路国道45号 歴史と展望」

《講演者略歴》

徳山 日出男 (政策研究大学院大学客員教授、元国土交通省事務次官)

川瀧 弘之 ((一財)日本みち研究所、元同省東北地方整備局長)

角田 光男 (東京都市大学、元共同通信社)

藤島 芳男 ((株)復建技術コンサルタント最高顧問)

会 費

- (学生の方) ● 講演会 : 無料
● 講演会+交流会参加の場合 : 2,000円
(一般の方) ● 講演会のみ参加の場合 : 1,500円
● 講演会+交流会参加の場合 : 3,500円 (講演会1,500円+交流会2,000円)

*講演会及び交流会会費は、当日、会場受付にて直接お支払いください。

申し込み方法

- お申し込みは、E-mailをお願いします。
- 申し込みメールは、件名を「**第7回講演会 申込み**」としたうえで、必要事項(申込人数、参加者全員の名前(ふりがな)、所属、連絡先、交流会参加の有無)を本文に記載の上、下記アドレスをお願いします。
- 申込みを受付した際には、講演会の概ね1週間前に案内メールを送信させていただきます。講演会当日に、案内メールを印刷の上、ご持参ください。

申し込み先

E-mail : infra70@jcca.or.jp

(注意事項)

- E-mail以外でのお申し込みについては、受付できない場合がありますので、ご注意ください。
- お申し込みは先着順となります。定員に達し次第、締め切らせていただきます。申し込みを締め切らせていただいた場合は、協会HPに掲載します。
- 参加をキャンセルされる場合は、極力事前に申し込みメールアドレスに連絡をお願いします。
- ご提供いただいた個人情報は本講演会のみで使用し、第三者には提供しません。
- 当日は、講演内容の記録として写真撮影や録画を行います。その写真を建設コンサルタンツ協会ホームページ、広報誌等に掲載させていただくことがございますので、予めご了承ください。

問合せ先

TEL: 03-3239-7994 / FAX: 03-3221-5019 (担当: 酒井、田原、三浦)

「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるとって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、(一社)建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、(一社)建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとなりました。

<次回講演会予定>

第8回講演会 2019年4月19日(金) 講演会: 17:30~19:30 交流会: 19:30~20:30

「不毛の大地を蘇らせた鹿島開発と巨大人工港鹿島港の建設」(仮題)

講演者: 鬼頭 平三 ((一財)みなと総合研究財団顧問) 他

場 所: 政策研究大学院大学 想海樓ホール